



自立的・探究的に

課題を解決するために必要な態度

変化の激しい社会の中で求められる資質・能力として、「自立的」「探究的」な態度があります。

「自立的」とは、他者からの指示がなくても、率先して着手する態度のことです。

「探究的」とは、好奇心や知識欲を持ち、積極的に調べ学ぶ姿勢のことです。

学校教育では、小学校から発達段階に応じて継続的に高めていく態度と言われ、熊本教育大綱にも、「自ら考え主体的に行動する力」が基本方針として定められ、指示を受けて行動するだけではなく、自ら課題を発見し、どうすれば解決(改善)するか考えて行動することを重視しています。

さて、今週は、各学年の総合的な学習の時間が盛り上がった1週間でした。

1年生は、10日(水)に熊本市の魅力を発見するために、グループで調査する場所を自分たちで決めて、熊本城や博物館等で校外学習を行いました。

2年生は、9日(火)から3日間、働くことを体験することで将来の自分、働く意義や目的を考えるため、地域の様々な職場で体験活動を行いました。

3年生は、10日(水)にESDの視点から環境や健康等について、身の回りの課題を解決(改善)するための体験活動を学校で行ったり、校外へ調査活動を行ったり、調査・研究活動を行いました。

生徒の皆さんが楽しそうに、集中して活動する姿はとてうれしく感じました。

これからは、活動したことが、どのような学びにつながったか、学び方はよかったのか、自ら振り返り、「自立的」「探究的」な態度の更なる高まりを目指してほしいと思います。



いじめ防止等対策委員会

9日(火)は、北部中いじめ防止等対策委員会を関係の教職員と共に警察、SC、SSWの皆様にご出席いただき、開催しました。

生徒支援部長の池松先生からのR6状況報告を基に意見交流を行いました。その後、関係の皆様から助言等をいただき、今後を検討しました。

いじめは、学校生活の中だけではなく、学校外やSNS上等、様々な場面で起こりうる状況にあります。

全校生徒の皆さん一人一人が安心・安全に学校生活を過ごすためには、「絶対にいじめは許さない雰囲気」「誰にでも悩み等を相談できる人間関係」それに「学校・家庭・地域、警察等の関係機関との連携」が必要と思います。

Well-being あふれる北部中づくりをみんなで行っていきましょう。

熊本県中体連大会

13日(土)からスタートする県中体連大会には、7競技(団体種目6、個人種目2)に参加します。

熊本市の代表として、優勝と共に優秀を目指し、全員が元気に参加することを願っています。

【県中体連出場部活動】

- ・女子バスケットボール部
- ・女子剣道部
- ・男子バレーボール
- ・男子剣道部
- ・男子ソフトテニス
- ・男子ハンドボール部
- ・新体操

